

# 日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター  
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2015.1 第24号



女峰山（栃木県日光市）

## 主な内容

診療紹介（消化器内科）	2
新設部門紹介（感染制御部）	3
オープンホスピタルを開催しました	4
部門紹介（薬剤部）	5
第5回国際観光医療学会学術集会に参加しました	5
旬を食べよう／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

## ▶ 消化器内科

### 【診療内容】

消化器内科部門では、消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）と膵臓、胆嚢、および肝臓に  
関係する病気に対する検査や、内視鏡治療、薬物治療など、手術以外の治療を扱っております。  
このため、急性腹症や、急性胆嚢炎、腹膜炎、進行胃癌、大腸癌などによる手術が必要な病態は、消  
化器外科部門で対応しております。

### 【関連する症状】

悪心、嘔吐、吐血、下血、胸やけ、腹痛、胃痛、黄疸、肝機能障害など。

### 【疾患】

食道	逆流性食道炎、食道潰瘍、食道癌、アラカジア、マロリーワイス症候群、食道静脈瘤
胃	胃炎、胃潰瘍、胃ポリープ、胃癌
腸	十二指腸潰瘍、腸炎（虚血性腸炎、偽膜性腸炎、感染性腸炎など）、大腸癌、 大腸ポリープ、過敏性腸症候群、腸閉塞、小腸疾患など
膵臓	急性膵炎、慢性膵炎、膵嚢胞、膵癌など
胆嚢 胆管	胆石症、胆嚢ポリープ、胆嚢癌、胆嚢腺筋症、胆管癌、胆管炎、総胆管結石など
肝	慢性C型肝炎、自己免疫性肝炎、非アルコール性脂肪肝炎、その他肝炎、肝臓癌など

### 【主な検査】

#### ● 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)

外来で検査できます。月～金曜日の午前中に検査します。口から、もしくは鼻から細い内視鏡  
をいれて、食道、胃、十二指腸を観察します。検査時間は5分程度が目安ですが、病気や状態によ  
り検査時間の変更があります。

#### ● 下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）

外来で検査できます。月～金曜日の午後に検査します。下剤を内服し、腸がきれいになってか  
ら大腸を内視鏡を使って観察します。検査時間は20分程度が目安ですが、病気や腸の長さ等によ  
り検査時間の変更があります。

#### ● 小腸カプセル内視鏡検査、ダブルバルーン小腸内視鏡検査

外来で検査できます。小腸カプセル内視鏡検査は、月、火、木曜日の午前中に検査します。の  
むだけで、小腸を観察できます。ただし、腸に狭窄のある人、妊娠中の人、ペースメーカーが入  
っている人、ものがのみこめない人はできません。これで病気を見つけた場合、入院して、ダ  
ブルバルーン小腸内視鏡検査を行います。

#### ● 内視鏡的膵管胆管造影検査

入院で行います。側視鏡という内視鏡を用いて、胆管、膵管を造影します。

**【主な治療】**

内視鏡治療	内視鏡的止血術 内視鏡的粘膜下層剥離術 内視鏡的胆道ドレナージ	内視鏡的粘膜切除術 内視鏡的ポリープ切除術
C型慢性肝炎	インターフェロン療法 抗ウイルス療法	

**【消化器内科外来の曜日、担当者】**

	月	火	水	木	金	土
予約外来	前田講師	中野医員	陣内医員		井澤医員	前田講師 (第1,5) 中野医員 (第2,4)
予約外外来	井澤医員	陣内医員	非常勤医師	前田講師 (第2,4) 非常勤医師 (第1,3,5)	非常勤医師	なし

\*予約外外来は、午前中のみとなっております。

**新設部門紹介**

**▶ 感染制御部**

日光医療センター感染制御部は、平成26年6月医療安全部の下部組織から、医療安全推進部と共に、独立、新生した部門です。

スタッフは、感染制御専門医（ICD）資格を持つ医師1名、同じく感染制御実践看護師(ICN) 1名をはじめ、感染制御担当の薬剤師および検査技師各1名、および兼任の事務員1名で構成されます。

私たちの役割は、院内で発生する、あるいは院内に持ち込まれる、あらゆる感染症に対峙し、患者さまや職員を感染から守ることです。それには、まず発生の予防に努めることがもっとも大切となります。一度発生すれば、その拡大を全力を挙げて防ぎ、速やかに終息させます。ただし予防や治療に直接当たるは現場の医師であり、看護師であり、現場のスタッフです。私たちが行うのはその支援です。すなわち、様々な感染症に対する予防や治療のための解説や方法、手順を示した手引書である、マニュアルを作ったり、院内感染対策チーム（ICT）で、定期的に現場を巡って、予防や治療が適切かを確認し、不備があれば改善を促し、あるいは院内に広がる兆しの感染症を早めに見付けて、直ちにこれを抑え込む予防策を強力に推し進めることなどが私たちの主な仕事です。この他院内スタッフ向けに、感染症予防に関する研修会も開催しています。

話題となったエボラやデング熱など、新たな感染症や、抗菌薬の効かない耐性菌の脅威が次々に身近に迫ってきます。最新の情報や知識を駆使して、様々な感染症に対する病院の防御の壁を、より厚く、より強固にしていく決意を一同新たにしております。



## オープンホスピタルを開催しました

オープンホスピタル実行委員会

今回、平成26年9月27日(土)に当センターで初めて「オープンホスピタル(以下、当イベントとする)」を開催しました。栃木県は平均寿命が男性79.06歳(全国38位)、女性85.66歳(全国46位)と全国平均より平均寿命が短いことから、同年4月1日より「健康長寿とちぎづくり推進条例」が施行されており、10月を健康長寿とちぎづくり推進月間として制定されることになりました。昨年はねんりんピック(全国健康福祉祭)が栃木で開催され、健康関連イベントが県内各地で実施されてきました。私たちはこのような行政の取り組みを背景に、日光地域の中核医療機関として地域の健康増進に貢献したいとの思いから、当イベントを開催するに至りました。



当イベントは2つのメインイベントが柱となり、1つは屋外でクイズやレクリエーションをしながら楽しくウォーキングが出来る「ハートフルウォーキング」、もう1つは院内にて血管年齢や肺年齢、ロコモチェック(運動機能)などが分かる「痛くない健康チェック」を実施しました。ハートフルウォーキングは参加者22名、健康チェックは参加者73名と当初の想定よりも沢山の方々にお越しいただき、閉会式まで人が途絶えることなく賑わっていました。参加者の中には医療機関や介護施設にお勤めの方もいましたので、手術室や透析室などの概要を説明する「院内ツアー」は非常に好評でした。また、お子様連れのご家族での参加も多く、とちまるくんや日光仮面などのご当地キャラクターとの写真撮影や医師や看護師の格好をして写真が撮れる「ちびっこ写真館」が子供たちで賑わっていました。その他、心臓マッサージ体験、ロコモ体操、エアロビ無料体験などの各種イベントを通して地域の方々の健康に少しでも貢献できれば、私たちは今回のイベントは成功であったと心より思っています。

今回のイベント終了後の3つの反応をお伝えしようと思います。1つ目は、参加された方から病院宛に一通の手紙が届いたことです。下野新聞の記事で知り、ご夫婦で痛くない健康チェックに参加されたそうです。手紙には「毎年こんな企画があったらよいなあ」ととても嬉しいお言葉が書き添えてありました。2つ目は、心臓血管外科の清水先生からのご連絡です。血管年齢測定を受けられた方のうち4名が、実際に心臓血管外科を受診されたとのことでした。3つ目はリハビリテーション部での話ですが、先日ボランティアに参加された大学生が日を改めて当センターに訪れました。それは、就職活動の一環で「見学に来たい」とのことでした。最後になりましたが、今回このように好評をいただいたのは、イベントに参加された方々だけでなく、協力してくれたスタッフや協賛していただいた企業の皆様のお力添えによるものです。この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

### ▶ 薬剤部

薬剤部では、病院内の全ての医薬品の管理と薬物療法に関わることを目標に日々の業務を行なっています。

入院中の患者さまの薬の量や使い方、あるいは飲み合わせなどを、薬剤師独自の立場で確認して調剤しています。

また、全病棟に薬剤師を担当させて、患者さまが入院された時には、過去に薬による副作用の経験がなかったか、あるいはアレルギー体質をお持ちでないか、などをお聞きして、今後の薬物療法の参考資料を作ります。その他、入院時にお持ち頂いた持参薬（他の医療施設から処方されている薬を含めた現在お飲みになっている全ての薬）やご自身で購入して飲んでいる健康食品などを調べて医師に情報提供しています。

その後も患者さま一人一人の薬に関する記録（薬歴）を作成して、検査データを見たり、患者さまと面談したりして、副作用の初期症状が出ていないかを見張ったりもしています。また、退院後ご自宅に帰ってからも正しい薬物療法が続けられるように、薬の飲み方や注意事項を説明するなどして、医師・看護師など他の治療スタッフと協力しています。

また、チーム医療の一端として、その専門知識を活かして、医療安全対策における感染や褥瘡(床ずれ)の予防、外来患者さまの抗がん剤の調製や抗がん剤治療中の生活上の注意の説明や副作用チェックなどにも貢献しています。

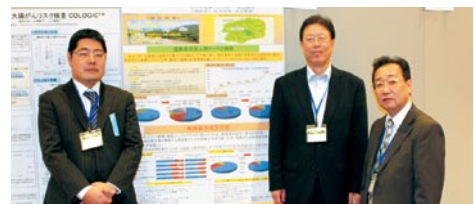
こうして、私たちは患者さまがより安心して医療を受けられますように、そして一日も早く回復できますように、薬をとおして治療に関わっています。



## 第5回国際観光医療学会学術集會に参加しました

平成26年10月25日（土）に国際観光医療学会（学会理事長：寺野彰獨協学園理事長）の第5回学術集會が、青山ダイヤモンドホールで開催されました。この国際観光医療学会学術集會は、第1回目から第3回目までは栃木県で開催されておりましたが、第4回目は京都府、そして今回は東京都での開催となりました。当日は、医療機関や行政、また各関係機関の方など370人を超える多数の方が参加されました。

学術集會は、特別講演が3講演、シンポジウムが2講演、一般演題が19演題あり、当センターからは、一般演題の部で事務部・長須洋治係員による「獨協医科大学日光医療センターにおける温泉宿泊型人間ドックの現状と課題（2014版）」のポスター展示と、当センターの人間ドックの現状と課題、今後に向けた展開についての発表、また、看護部・原弘子副部長による「団体で研修や観光で当地を訪れる施設からの受診依頼状況」についての発表がありました。ポスター発表の中で、事務部・看護部共に日光医療センターを紹介し、当センターをアピールすることができました。



## 旬を食べよう

### ヤーコン

ヤーコンは中南米アンデス高地原産のキク科の根菜です。地中にできたイモ（塊根）を食べます。イモはさつまいもに似た形状ですが色は薄い茶色です。

#### 《成分》

約85%は水分です。水分を除いた固形分の多く（約70%）はフラクトオリゴ糖が占めています。

その他、食物繊維、ポリフェノール、ミネラル、カリウム、カルシウム、マグネシウム、カテキン、ショ糖、果糖、ブドウ糖なども含まれています。

フラクトオリゴ糖は虫歯になりにくい、腸内菌の改善をしてお腹の調子を良くする、血液や血行を良くし脂質改善や血糖値、血圧の低下、便秘改善、などに効果があるといわれています。

#### 《選び方と注意点》

- あまり太すぎず表面に傷などが無いもの。
- 手に持ったときに表面が硬く張りがあるもの。しっかりと重みのあるもの。

#### 《美味しい食べ方》

ピーラーなどで皮をむき調理します。

切った後は数分間水にさらすと仕上がりが白くきれいになります。

味や歯ざわりは梨のようでシャキシャキとした触感と甘さがあります。

- 生のまま→千切りや薄切りでサラダや酢の物、和え物に。
- 揚げ物→天ぷらや、かき揚げ、春巻き、コロツケなど。
- 炒め物→きんぴら、中華炒めなど。
- その他、散らし寿司やグラタン、チャーハンの具として。
- いちょう切りにしたりんごと一緒に砂糖、レモンで煮てジャムに。



### 当センターと一緒に働いてみませんか？

## 平成27年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで  
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※平成26年度採用についても随時対応いたします。

### 編集後記

2015年はどんな年になるでしょうか？消費税の問題から景気の動向も気になりますし、季節的には、インフルエンザの流行も心配です。当院でも昨年は、新型インフルエンザ対応のシミュレーション訓練も実施しました。これは、近隣の医療機関より救急車で搬送された患者さんを想定して行いました。以前にもノロウイルス感染症の時は、院内で痛い思いをしましたから、備えが肝心です。備えといえば、災害医療に対するの準備もしておかなくてはなりません。日光地区での災害拠点病院登録に向けて準備中です。DMATも院内に組織予定です。2月の厳寒の最中に講習会と試験（筆記と実技）があります。受験、頑張ります。（スノーマン）

### 日光医療センター通信 ～いろは～ 第24号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日／平成27年1月00日

編集・発行／獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。

